The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	本研究会の活動（2000年10月～2001年3月）
Author(s)	
Citation	詞林. 2001, 29, p. 58-59
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/67469
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

本研究会の活動（2000年10月～2001年3月）

第124回研究発表会　10月22日（日）
伊勢から中務へ―歌風と資料の継承―　加藤　雄一
『源氏物語』夕霧巻における「名」の機能　岡田ひろみ

第125回研究発表会　11月18日（土）
後水尾院の古今伝授
―寛文四年の伝授を中心に　海野　圭介
『大仏供養物語』の周辺
―談義の物語と説話―　箕浦　尚美

第126回研究発表会　12月16日（土）
『うつほ物語』二者一対の法　加藤　昌嘉
『夜の寝覚』の時間と形容
―天人不降下を中心に―　中川　照将

第127回研究発表会　1月27日（土）
第二種七巻本『宝物集』の周辺　中川　真弓
『誹諧絵合』をめぐって　辻村　尚子

第128回研究発表会　2月18日（日）
鷹司院帥の和歌
―『温故抄』を中心として―　中村　友美
淳和天皇と勅撰三集　山谷　紀子

第129回研究発表会　3月17日（土）
日本の遁世者と中国の隠逸者
―『徒然草』を中心に―　謝　立群
「御時」の物語と「光源氏」の物語　楠　なおみ

伊井春樹編『古代中世文学研究論集 第三集』

古今作者の官職をめぐって
—〈公的文学としての和歌〉の担い手— 滝川 幸司
古今集時代から後撰集時代への屏風歌の変化
—子日をめぐって— 田島 智子
歌語りの実際と伊勢の歌 加藤 雄一
御陵の桐壺帝 藤井由紀子
明石一族の皇位継承権獲得の表現
—『源氏物語』明石巻における
催馬楽「伊勢海」引用を中心に— 岡田ひろみ
『源氏物語』における空蟬の出家
チョーティカプラカーイ アッタヤ
源氏物語の中の手習巻という寄生体 加藤 昌嘉
源氏物語古写本における
傍記異文の本行本文化について
—天理図書館蔵麦生本「若紫」の場合— 伊藤 鉄也
もう一つの源氏物語
—梗概書と連歌における源氏物語の世界— 岩坪 健
富をめぐる話と『宇治拾遺物語』
—現実から現実の彼方の物語世界へ— 大村誠一郎
瓜を詠み込む歌
—付・『師輔集』の「大和瓜」の歌— 堤 和博
稲の名を詠んだ和歌 佐藤 明浩
『僻案抄』古筆資料の検討 海野 圭介
『中務内侍日記』攷
—弘安十一年二月十三日野上行幸記事をめぐって— 阿部 真弓
『金文玉軸集』とその端に記された和歌
—『明恵上人行状』の一記事から— 山崎 淳
『體源鈔』の生成 中原 香苗
輻輳する伝承の層
—『直談因縁集』と中世物語・語り物文芸— 近本 謙介
『大仏供養物語』考 箕浦 尚美
『後素説』について 中本 大
河村秀根『狭衣入紐』について
—自筆稿本跋文の解釈と作成事情を中心に— 川崎佐知子
『伊勢物語秘注事』の解説と翻刻
—東海大学附属図書館桃園文庫蔵本— 松原 一義
『伊勢物語』段別研究論文目録〔平成元年～平成一〇年〕 本田 恵美
豊子愷訳に見る『源氏物語』の受容
—「和歌」と「もののあはれ」訳を中心に— 胡 秀敏

（和泉書院 平成十三年一月刊 定価 九〇〇〇円＋税）